



平成28年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバンス  
 代表者名 代表取締役社長 村松 通泰  
 (コード番号7254 東証第二部)  
 問合せ先 取締役 櫻井 芳久  
 (TEL : 053-576-1311)

**通期連結業績予想と実績との差異、および剰余金の配当、ならびに単体業績に係る  
 関係会社株式評価損、関係会社貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ**

平成28年2月10日に公表いたしました連結業績予想値と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成28年5月12日開催の取締役会において、平成28年3月31日を基準日とする剰余金の配当に関し、下記のとおり第83期定時株主総会に上程することを決議いたしましたのでお知らせいたします。併せて、単体業績に係る関係会社株式評価損、関係会社貸倒引当金繰入額の計上につきましてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想値と実績値との差異について

## (1) 平成28年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 64,000	百万円 100	百万円 △400	百万円 △400	円 銭 △19.15
今回発表実績 (B)	63,087	160	△348	△604	△28.95
増減額 (B-A)	△912	60	51	△204	—
増減率 (%)	△1.4	60.9	13.0	△51.2	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	64,781	770	1,811	1,779	85.17

## (2) 差異の理由

営業利益につきましては、合理化および費用削減により前回予想に対して60百万円上回る結果となりました。

経常利益につきましては、営業利益増加等により前回予想に対して51百万円上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩しおよび固定資産の減損損失の計上により前回予想に対して204百万円下回る結果となりました。

## 2. 剰余金の配当について

## (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月10日公表)	前期実績 (平成27年3月期)
基準日	平成28年3月31日	同左	平成27年3月31日
1株当たり配当金	2円00銭	未定	5円00銭
配当金の総額	41百万円	—	104百万円
効力発生日	平成28年6月28日	—	平成27年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間
当期実績	4円00銭	2円00銭	6円00銭
前期実績 (平成27年3月期)	4円00銭	5円00銭	9円00銭

(2) 理由

当社の利益配分に関する基本方針は、常に企業価値を向上させることにより、株主利益の増大を目指すとともに、経営の基盤と収益力の強化に努め、収益と財務のバランスを図りながら、安定的、且つ継続的な配当を実施していくこととあります。

そのため、平成28年3月期の期末配当につきましては、業績および財務の状況を見極めた上で判断すべく「未定」としておりましたが、株主配当を実施できる状態であると判断し、平成28年3月期の1株当りの期末配当につきましては、2円（年間で1株につき6円）とすることといたしました。

3. 関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額の計上について

当社連結子会社のユニバンスINC. およびP. T. ユニバンスインドネシアについて、財政状態および経営成績を勘案した結果、平成28年3月期の個別決算におきまして、当該子会社に対する当社債権について、関係会社株式評価損27億34百万円および関係会社貸倒引当金繰入額4億61百万円を計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額につきましては、連結決算上相殺消去されるため、連結財務諸表に与える影響はございません。

以 上